

# 秋田の土地改良



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

みどり  
水土里ネット秋田

## 目次

開催まで、あと50日！全国土地改良大会秋田大会	2
秋田県21創造運動推進本部員会議	4
水土里ネット活動報告(各地の取り組み)	5
水土里の郷 わくわく探訪	7
東北農政局と活動組織との意見交換会(農地・水・環境保全向上対策)	8
水土里ネット秋田創立50周年記念式典	8
各種研修会(職員会総会、農地集団化総会、換地訴訟研修会)	9
平成21年度本会(水土里ネット秋田)職員採用試験について	11
水土里ネット秋田・内部研修(報告)	12
連合会日誌・会員だより	14
農地集積加速化基盤整備事業に関する要請活動(本会役員)	15
よみがえれ！江戸時代の稲穂(水土里ネット稲川)	16
支部からの水土里通信(山本支部)	17
インフォメーション	18
残暑見舞い	20

◆発行所／秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号  
TEL .018-888-2750(代) FAX .018-888-2834 <http://homepage2.nifty.com/akidoren/>



「ジュンサイ採り」美しく豊かな農村づくり写真コンクール入賞作品

第31回  
全国土地改良大会  
秋田大会

秋田大会へ  
カウント・ダウン!

10月14日開催の第31回全国土地改良大会秋田が間近に迫ってきました。本会では役職員が丸一となってその成功に向けて鋭意努力しているところでございます。

なお、大会式典及び事業視察等の参加者が概ね確定しましたので、大会概要を改めて掲載させていただきます。関係者皆様方の参加をお待ちしております。

第31回全国土地改良大会を秋田市で開催いたします。

「水」は命の源であり、「大地」は豊かな恵みを与えてくれ、「郷」は食料生産の場であるとともに、人々の心のふるさと、文化の継承地であります。

「食料自給率の低下」と「食の安全・安心」が最大の関心事となっている昨今、このような課題をも踏まえ、我が国の農業・農村が国民の健康と安全に果たしている役割を広く国民のみなさんに伝えるとともに、時代の要請に対応する「農業農村事業と水土里ネット」のあるべき姿を今後どのように展開させていくのか、今こそ真剣に考えなければならぬ時です。

全国の土地改良関係者が、食料の一大供給基地である「あきた」に一同に会し、これらの課題を一緒に考え、明日の活力ある農業農村づくりのために開催するものです。

本大会が盛会に開催できますよう、「小町娘」ともども、皆様多数のご参加をお待ちしております。

水土里ネット秋田（秋田県土地改良事業団体連合会）  
第31回全国土地改良大会 秋田大会運営委員会

委員長 高畑 進



▲全国大会（七夕）



第31回  
全国土地改良大会 秋田大会

- 日時 平成20年10月14日(火)
- 場所 秋田県立武道館
- 事業視察 平成20年10月15日(水)~16日(木)

多数の参加をお待ちしております!!

あと 50日 (8月25日現在)



【問い合わせ先】  
総務企画部全国大会開催PJ 島山・阿部・齊藤・尾張谷  
TEL.018-888-2713 FAX.018-888-2834

**1 大会概要**

■大会式典 平成20年10月14日(火) 12:50～16:25  
 ■交歓会 平成20年10月14日(火) 17:30～19:30

<b>大会式典</b>	秋田県立武道館 (秋田市新屋町字砂奴寄2-2 018-862-6651)
12:50～13:30 13:30～15:15	オープニングセレモニー 秋田の紹介・西馬音内盆踊り 1. 開会宣言 2. 国家斉唱 3. 開催県挨拶 4. 主催者挨拶 5. 歓迎の言葉 6. 来賓祝辞 7. 土地改良事業功績者表彰 8. 21世紀創造運動大賞発表及び表彰式 9. 農業農村の振興に向けた優良活動事例紹介 10. 基調報告 11. 大会宣言 12. 次期開催県紹介 13. 大会旗引継ぎ 14. 次期開催県挨拶 15. 万歳三唱 16. 閉会挨拶
<b>歓迎アトラクション</b>	秋田県立武道館
15:15～16:25	『ようこそ秋田へ』 わらび座公演
<b>交歓会</b>	秋田キャッスルホテル (秋田市中通1丁目3-5 TEL 018-834-1141)
17:30～19:30	<b>来賓・県外参加者等、参加者相互の交歓会</b> 立食buffet方式(会費制) ※大会会場(秋田県立武道館)から交歓会会場までは大会専用バスにて移動予定
<b>併催行事</b>	秋田県立武道館
9:30～17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 秋田県農業農村整備事業に関するパネルコーナーを設置します。</li> <li>■ 21世紀土地改良区創造運動優良事例紹介コーナーを設置します。</li> <li>■ 農業関連学科設置高校及び県立大学の紹介コーナーを設置します。</li> <li>■ 秋田を代表する農の展示コーナーを設置します。</li> <li>■ 秋田県の各市町村を代表する物産展示販売コーナーを設置します。(試飲、試食も出来ます)</li> </ul>

**参加状況**

- 県外参加者 1,949名
- 県内参加者 1,497名
- 県内公募参加者 30名
- 来賓(県内外) 200名

大会式典参加者合計 3,676名

**2 事業視察**

■平成20年10月15日(水)～10月16日(木)

<b>Aコース 北秋田・鹿角</b> [1泊2日] 神秘の湖 十和田湖と 日本最古の芝居小屋を訪ねて	
<b>Bコース 大潟・男鹿</b> [1泊2日] 干拓地大潟村と なまはげの里を訪ねて	
<b>Cコース 由利・雄勝</b> [1泊2日] 紅葉の鳥海山と 小町の郷を訪ねて	
<b>Dコース 平鹿・仙北</b> [1泊2日] 伝説の湖 田沢湖と みちのくの小京都角館を訪ねて	
<b>Eコース 大潟(日帰り)</b> 干拓地大潟村を訪ねて	

- Aコース(北秋田・鹿角)  
 県外参加者: 116名 県内参加者: 0名
- Bコース(大潟・男鹿)  
 県外参加者: 303名 県内参加者: 0名
- Cコース(由利・雄勝)  
 県外参加者: 30名 県内参加者: 6名
- Dコース(平鹿・仙北)  
 県外参加者: 152名 県内参加者: 0名
- Eコース(大潟・日帰り)  
 県外参加者: 485名 県内参加者: 4名

事業視察参加者合計 1,096名  
 (県外: 1,086名 県内: 10名)

## 21世紀土地改良区創造運動

### 平成20年度第1回推進本部員会議を開催！

#### ■運動の広がりを目指して

8月6日(水)、平成20年度第1回秋田県21世紀土地改良区創造運動本部員会議が開催され、推進本部員11名が出席した。



本部員会議は、平成20年度事業経過報告（中間）について報告が行われたほか、事例発表として平成20年度21創造運動大賞東北地方選考会推薦の水土里ネット仁井田堰の伊藤事務局長が発表を行った。

報告事項では、今年度の21創造運動大賞の経過報告や運動実施地区（予定）の概要、各種事業との連携・活用について、水土里レポーターの選定などが報告された。

また、運動の広がりに向けた意見交換では、「財政上の問題が取り出されるが、創意工夫と他の助成等を活用しながら最小限の出費で運動を実施することが大事。役職員のやる気（意識）が運動の広がりにつながる」、「農地・水・環境保全向上対策などの新たな事業や他団体との連携が、運動の広がりには必要であり、それを契機として取り組むべきである」などの意見が推進本部員から提言され、活発な意見交換がなされた。

#### ■地域住民と農家の共有意識の醸成

事例発表では、平成20年度21創造運動大賞東北地方選考会推薦の水土里ネット仁井田堰（発表者：伊藤事務局長）が、同選考会で行ったプレゼンテーションを再現し、今年で6回目の開催となった「水土里のみちウォーキングin仁井田walk」の取り組みを紹介した。

仁井田walkは、平成15年に21創造運動の取り組みとしてスタートし、今年で6回目開催となった。毎年、参加者や連携・協力する団体も増えてきており、美しい田園風景や水辺空間など農村の持つ魅力を再発見しながら、水土里ネット

や農業水利施設の果たす役割を地域住民にPRすることを基本理念に掲げた取り組みも、成果が確実に上がってきていると感じられた。



発表の中で、伊藤事務局長は21創造運動の成果として、①協力団体の増加、②役職員やスタッフ間の連携強化、③水土里ネットの役割や存在を多くの地域住民（子供から大人まで）から知ってもらうことができた、などを上げていた。

また、今後の展開として、他事業や地域住民・教育機関との連携強化、運動計画の再構築などを掲げており、これからも運動の継続性、発展性が期待できる取り組みであると考えている。

#### ■水土里レポーターの選任について

21創造運動や水土里ネットの地域における活動などを情報発信してもらおうと、今年度も地域水土里レポーターを選任（各管内・支部から1名）しました。

21創造運動の更なる浸透を図るため、今まで埋もれていた地域にある「ちょっといい話」を拾い上げて行きたいと思います。各地域の情報・話題などがありましたら、お近くの水土里レポーター又は21創造運動推進本部事務局（総務企画部広報・渉外班 TEL.018-888-2742）まで、お知らせください。

◇平成20年度・水土里レポーター

原田 政子	水土里ネットかづの
菅原 喜博	水土里ネット二井田真中
畠山 篤美	水土里ネット浜口
伊藤 清栄	水土里ネット仁井田堰
須田 久	水土里ネットにかほ
藤岡 義博	水土里ネット七滝
吉田 一則	水土里ネット雄物川筋
高橋 和美	水土里ネット湯沢中央